

登別をバトラーの聖地に！若者と温泉で未来を拓く！

チーム名：湯の国PR隊小関’s4埼玉より愛をこめて
メンバー：2年宮本大地 1年 石上航星 1年 瀬田恒太 1年 吉野隼多

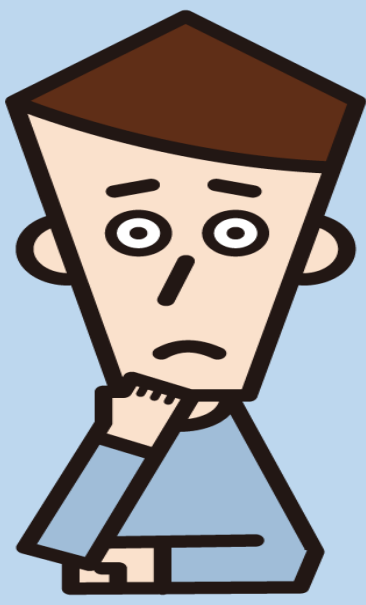
活動期間：2025年6月～9月、現地活動：9月1日～9月3日

全国大学政策フォーラムとは

全国大学政策フォーラムは、全国の大学生が登別市をフィールドに、地域課題の発見から政策立案までを体験的に学ぶ実践型の学習プログラムである。学生は現地調査やヒアリングを通して登別市の現状と課題を把握し、その解決に向けた政策提言を行う。これらの提言は、行政や企業、地域団体など多様な関係者との意見交換を通じて磨かれ、実際の地域政策に生かされることもある。単なる学生発表にとどまらず、地域の現場に根ざした政策形成のプロセスを学ぶことで、課題発見力、分析力、表現力を総合的に養うことができる。登別市という実際のまちを舞台に、理論と実践を交えながら「自ら考え、行動する人材」を育むことを目的としている。



今回のテーマ



今回のテーマは、『『消滅可能性自治体』登別、あなたならどうしますか？』である。少子高齢化と人口流出が進む登別市を舞台にヒアリングを通じて地域の課題を把握し、持続可能なまちづくりの方向性を考察した。温泉観光地としての強みを生かしながら、若者の定住促進や新たな産業創出、地域ブランドの再構築など、多面的な視点から政策提言を行うことが求められる。各チームが「自分たちならどう登別を再生するか」を主体的に考え、地域の未来を描くことが今回のテーマである。

私たちの政策提案

登別市の課題である若者の人口減少と温泉産業の人材不足、富裕層観光客の取り込みの遅れを踏まえ、私たちは「登別バトラー育成計画～若者がいる街を目指して～」を提案した。

登別温泉の宿泊業従業員を対象にした「登別バトラー養成塾」を設立し、国内外の一流バトラーから専門的教育を受ける機会を提供する。また、修了者に市独自の称号「NOBORIBETU Butler」を授与し、国際的ブランドを確立する。さらに、旅館組合・登別市・室蘭信用 金庫を中心にDMOを設立し、官民連携で推進する。

これにより、若者の定着と高付加価値観光の実現を図り、「バトラーの聖地・登別」を目指す。



現状の課題

- ・若者を中心とした人口減少
- ・温泉産業の人材確保
- ・富裕層の取り込みが不足

政策内容

- ・最大の資源である「温泉」を最大限に活用した新たな人材育成とブランド戦略
- ・温泉産業の付加価値向上と若者にとって魅力的なキャリア形成の場を創出
- ・登別市をバトラー育成の聖地とすることで、若者を登別市に呼び込み、市内に若者が溢れ、活気のある状態に！

持続可能な地域活性化を実現！



提案の3つの柱

(1)「登別バトラー養成塾」の設立

質の高いバトラーを育成するための専門的な教育機関を設立する。講義は、登別温泉の旅館・ホテルに就労している従業員を対象とし、業務の合間である昼の中抜け時間を利用して実践的な学びの場を提供する。講師陣は国内外から現役の一流バトラーを招聘する。

(2)「NOBORIBETU Butler」認定制度の創設

養成塾の全課程を修了し、厳格な最終試験に合格した者に対して登別市独自の公式な称号「NOBORIBETU Butler」を授与する。認定の証として、認定証とバッジを交付し、権威性を高める。この称号を持つ人材が国内外で活躍することにより、「NOBORIBETU Butler」というブランドを確立し、世界にその名を広めることを目指す。

(3) 推進体制:DMO(観光地域づくり法人)の設立

本計画を安定的かつ効果的に推進するため、旅館組合、登別市、室蘭信用金庫を中核とするDMOを設立する。この連携体制により、官民金が一体となって計画を推進し、観光庁をはじめとする国の支援を受けやすい体制を構築する。



私たちが提案するバトラーの例

1.「登別式クアオルト」

「Kur(クア)」＝治療・療養「Ort(オルト)」＝場所・地域。「クアオルト」は療養を行う場所という意味。
→気候性地形療法、温泉・鉱泉・海水・水を活用した療養プログラム

2.「身体の不自由な人へのサービス」

身体的不自由を抱えている方のお助けサービス
→車椅子利用者が送迎など快適に過ごせるようにアシスタント

3.「ペット同伴サービス」

ペットと一緒に旅行したい富裕層向けのサービス
→留守中の預かり、旅行先の食事中、温泉入浴中、買い物中

期待される効果

- ・温泉産業の人材確保と質の向上: 若者が専門スキルを習得し、明確なキャリアパスを描けるようになることで、人材の定着と確保につながる。地域全体のサービスレベルも向上する。
- ・新たな顧客層の開拓: 高付加価値サービスを提供することで、これまでアプローチが難しかった国内外の富裕層を新たな顧客として誘客し、地域での消費額増加に貢献する。
- ・新たな都市ブランドの確立: 「バトラーの聖地といえば登別」という唯一無二のブランドイメージが定着する。これにより、若者が「働きたい街」として登別を目指す好循環が生まれる。
- ・地域経済の活性化: 観光産業の振興が、宿泊、飲食、交通、物販など関連産業にも波及し、地域経済全体の活性化を促進する。

